

科目責任者 矢久保 修嗣(臨床漢方研究室)

**■ 教育目的**

各種の臨床検査の実施意義と検査の理論、手技について理解することを目的とする。

臨床検査国家試験出題基準および過去問に添って学習する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-③、YD-④】

**■ 学習到達目標**

臨床検査の基本を取得し、疾患の臨床における検査の病体的意義と用いる検査法を理解する。

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：テーマに関連した記事をインターネットで検索したり、シラバスの該当するテーマの章に目を通しておく。

復習：配布した授業プリントにもう一度目を通し、授業内で触れた事項等について自分で調べみる。

**■ 授業形態**

講義

**■ 授業内容**

検査の対象となる検体の採取法、取扱い方法、定性検査、定量検査、形態学的検査などの基本的事項について講義する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	一般検査	・尿検査、糞便検査 ・喀痰検査、胃液検査、十二指液検査、髄液検査、穿刺液検査	
3～4	血液学的検査	・血液学的検査のための採血と検体の取り扱い、CBC ・血球形態の観察、白血球百分比 ・血液凝固検査	
5～8	微生物学的検査	・微生物学的検査の基礎 ・細菌の分離と培養・同定 ・ウイルス性疾患の診断	
9～11	血液生化学的検査	・血液生化学的検査のための検体の取り扱い、糖質、タンパク質 ・非タンパク質性窒素成分、膠質反応、脂質、電解質、生色色素 ・酵素、ホルモン、血中薬物濃度 ・機能検査(肝・胆道、消化器、胃、内分泌、その他)	
12～13	免疫学的検査	免疫学的検査の基礎と応用	
14	輸血検査	輸血のための検査(血液型の検査を含む)	
15	病理検査	病理組織学的検査の基礎と組織切片の作成	

**■ 授業分担者**

大塚 昌信(非常勤講師)(No.5～8)、柿木 孝志(非常勤講師)(No.1～4・9～15)

**■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**

期末試験(90%)および出席状況・授業態度(10%)で総合評価を行う。

**■ 単位認定方法**

上記の成績評価で基準点を超えた者に単位を認める。

**■ 教科書**

必要に応じてプリントを配布

**■ 参考書**

『臨床検査法提要第33版』金井 正光 監(金原出版)

『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』河合 忠・庄司 優 編(薬事日報社)